

作成日 2010/04/28

改定日 2017/06/22

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品

製品名 RC ガーデックス高炉用
供給者の会社名 日本躯体処理株式会社
住所 埼玉県川口市道合262-1
担当部門 技術部
電話番号 048-229-7222
FAX 番号 048-229-7223

推奨用途及び使用上の制限

建設資材、主として業務用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

皮膚腐食性・刺激性 区分 1
目に対する重篤な損傷・目刺激性 区分 1
急性毒性 (経口) 区分 4

上記に記載のない危険有害性は、分類対象外か分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
大量に飲み込むと有害

注意書き

予防策

換気：なるべく蒸気や霧を避ける為換気を行なう。

吸引保護器：通常の換気が行なわれていれば必要なし。特に空气中に多量に存在する場合は適当なマスクを使用する。

目／皮膚保護：保護眼鏡、制服、エプロン、ゴム手袋の使用が望ましい。

応急措置

目：15分間以上冷水で洗浄する。コンタクトレンズは外す。不快感が取れない場合は医師の診断を受ける。

皮膚：汚染された衣服や靴などと一緒に水で洗い流す。炎症や痛みがある場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：無理に吐かせない。希釈の為大量の水を飲み、直ちに医師の診断を受ける。意識の無い人には、水分を与えず、直ちに医師の診断を受ける。

保管

温度：制限なし。本製品は凍結／融解をしても変質しないが、融解はよく攪拌してから使用する。

特別注意：容器の蓋を良く締め、通常の化学品の貯蔵施設で貯蔵する。

廃棄

内容物および容器は、自社による適正処分が都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に委託する。

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	混合物
化学名または一般名	けい酸ナトリウム系表面含浸材
その他別名	コンクリート改質材・含浸材、無機質浸透性コンクリート改質材
成分・化学特性	

一般名	濃度範囲	化学式	CAS 番号
けい酸ナトリウム	15.4±4.6 %	Na ₂ O・nSiO ₂	1344-09-8
その他 (浸透・反応促進剤など)	微量	—	—

4.応急措置

目：15分間以上冷水で洗浄する。コンタクトレンズは外す。不快感が取れない場合は医師の診断を受ける。

皮膚：汚染された衣服や靴などと一緒に水で洗い流す。炎症や痛みがある場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：無理に吐かせない。希釈の為に大量の水を飲み、直ちに医師の診断を受ける。意識の無い人には、水分を与えず、直ちに医師の診断を受ける。

5.火災時の措置

消火剤	この製品自体は燃焼しない。
特有の危険有害性	この製品自体には、火災による危険有害性はない。
消火を行う者の保護	空気呼吸器、保護メガネ、保護手袋等を着用する。

6.漏洩時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	作業者は適切な保護具を着用し、目・皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に直接排出されないよう注意する。
封じ込め及び浄化方法 及び機材	ウエスやスポンジで、できる限り拭き取る。多量の場合は必要に応じて、電動ポンプや乾湿両用型掃除機などを用いて回収する。回収しきれない分に対しては、酸による中和処理を行う。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	目や皮膚に触れない様、保護メガネ・保護マスクや保護手袋を着用する。
安全取扱注意事項	屋内で取り扱う場合には、局所排気や全体排気など必要に応じて換気を行なう。施工範囲以外にこの製品が付着する恐れがある場合には、必要に応じた養生をあらかじめ行う。
衛生対策	取扱い後は手顔の水洗い、うがいを実施する。
保管	部外者が触れない措置を講じ、容器の蓋は確実に閉めて保管する。氷点下時に内容物が凍結／融解をした場合でも変質しないが、融解はよく攪拌してから使用する。

8.ばく露防止及び保護措置

設備対策	必要に応じた換気設備や、回収に用いる乾湿両用型掃除機など備える。
暴露限界値	管理濃度：作業環境評価基準では設定なし 許容濃度 (ACGIH)：設定なし
保護具	
呼吸器の保護具	簡易防塵マスクや防塵マスク
手の保護具	保護手袋 (液体が透過しない物が望ましい)
目の保護具	保護メガネ
皮膚及び身体の保護	ヤッケ、レインコート、長靴など

9.物理的及び科学的性質

外観：液体

色：無色

臭い：なし又はわずかな石鹼のような臭い。

水に対する溶解度：非常に良く溶ける。

溶解度：350 (g/100g H₂O 摂氏20度)

沸点：摂氏100度

比重：1.08~1.18/摂氏20度

蒸気圧：0.00025-0.0001 Pa/摂氏999度

PH値：10.6~12.6

粘度：5-10 CPS/摂氏20度

10.安定性及び反応性

安定性	通常的环境下においては安定状態であり反応はおこらない。時間の経過によって有効成分などが沈殿する場合もあるが、品質や物性については変化はない。
反応性	カルシウムやマグネシウム、酸などと反応する。反応成分がない部材（タイルやガラスなど）に付着したまま乾燥した場合には、炭酸化して白い結晶となって固着する事がある。この製品はアルカリ性である事から、亜鉛メッキ・アルミニウムなどの表面を侵すので、接触した場合は速やかに水洗いする。
危険な分解生成物	危険な分解生成物はない。

11.有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	炎症や痛みが生じる事もある
目に対する損傷・刺激性	痛みが生じる
経口毒性：LD50	>2000mg/kg (マウス)

12.環境影響

生態毒性	LC50 96時間 魚 3185mg/l EC50 96時間 プランクトン 247ml/l
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。自社による適正処分が都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に委託する。残余物が少量の場合には、酸による中和処理と大量の水で希釈したのちに廃棄する。
汚染容器及び包装	容器はリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14.輸送上の注意

国際規制	該当しない
国内規制	該当しない
特別な安全対策	容器の損傷・破缶などによって、内容物の漏れや荷崩れ等の防止を確実にを行う。

15.適用法令

労働安全衛生法	該当なし
化管法	該当なし

16.その他情報

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報を基に作成しておりますので、新たな知見や情報によって通知なく改訂する場合があります。また記載内容に関しては全てを保証するものでなく、弊社が知見を有さない有害性や危険性のある可能性も考えられます。取り扱いの際にはこれを参照するとともに、実態に応じた安全対策を実施の上でお取り扱い願います。